

---

# <みそひともじ小説> らくよう

松原 透

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

< みそひともじ小説 > らくよう

### 【Nコード】

N8005Y

### 【作者名】

松原 透

### 【あらすじ】

ふるさとに、ヒカルと亜季は旅立った。さいこの時を迎えるために。

地の文が「五・七・五・七・七」の短歌調、合計31文字になっているため、三十一字小説といたしました。みそひともじ  
最後までお付き合いいただければ幸いです。

「ここに来ると、何だかほっとするね」

霜月の冷えた空気が頬を打つ。色づくあきは、ながめの中に。

紅に、染まる木の葉が風に揺れ、空の涙に露が滴る。

「まあ、故郷だからね。仕事も全部終わらせたい、確かに何だかスツキリしてる」

「相変わらずだね、ヒカルは。もう辞める会社なのに、どうしてそんなにマジメに仕事しちゃうの？」

朗らかに、そして優しくあきは来た。雨が過ぎ去り晴れ間が覗く。

久方の、光差し込む町並みは、記憶と同じ田舎の顔で。

「そこがヒカルらしいんだけどさ。それにしても久しぶりだね」

「高校を卒業して以来だから、何年ぶりかなあ。家は見て行く？」

「ううん、やめとく」

俯いて、かなしいあきは歩き出す。流れる風に押されるように。

物憂げに入相の鐘、町に降る。見上げる先に、山が聳える。

「とっても懐かしいね。子供のころにヒカルとよくこの山に登って、

お母さんに怒られた記憶がある」

「仕方ないよ。獣道みたいなものしかないし、地面は滑るし、崖になつてるところだってあるから」

紅葉<sup>もみじは</sup>の移り行く様、さながらに、季節外れの蚊遣火に似る。

踏みしめた地面の泥が濡れていた。土へと還る落ち葉と共に。

「この先に溪流があつたよね。確か、すごい綺麗だったこと覚えてる。変わってないかな」

「分かんないけど、変わってなければいいなあつて思う。私、あそこがとても好きだったから」

山鳥の鳴き声だけが木霊する。木々が途切れて響く水の音。

ゆく川の、猛々しくも美しく、突き出た岩に砕ける翡翠。

「綺麗ね」

「うん。変わってない。昔のままだ」

幼き日、今と変わらずここに立ち、ともに無心で流れを追った。

時は過ぎ、巡る季節をせき止めて、思い描くは雲居<sup>くもい</sup>の逢瀬。

「亜季、ここにいい？」

「うん」

ぬばたまの、よる冬のかげ穏やかに、やがて旅立つ二人を隠す。

冷えた手に、ひかる白銀だきしめて、あきの時雨<sup>しぐれ</sup>を記憶に刻む。

「ありがとう。ヒカルお兄ちゃんが、一緒に来てくれて本当によかった」

「向こうで、また逢おうね」

ひらひらと、ただひらひらと、まっっている。あきはらくよう。ひは沈みゆく。

## （後書き）

ここまで読んでくださって本当にありがとうございます。

大半の方がお気づきと存じますが、気付いていただけなかった場合の空しさが半端ないため、この場にて少しばかり解説させていただきます。

文中の不自然なひらがな表記はだいたい掛詞になっています。「落葉と洛陽」「秋と亜季」「夜と寄る」「待っていると舞っている」「悲しいと愛しい」「日とヒカル」などです。最後のは強引ですが……（汗）ちなみに「行く川と逝く川」で三途の川をイメージしています。

また、歌詞もところどころに使っています。「蚊遣火……表に出せずにくゆる恋情」「雲居……非常に遠いところ」「時雨……初冬のにわか雨。また涙を流すこと」などなのです。

よろしければ、感想お願いします……で、げそ。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8005y/>

---

<みそひともじ小説> らくよう

2011年11月23日20時50分発行